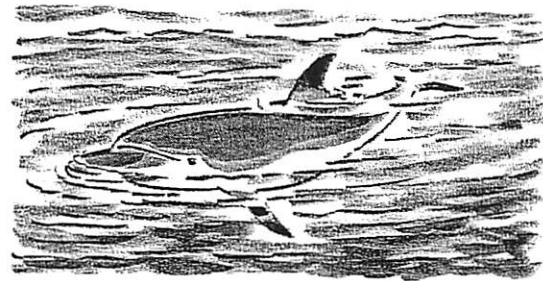


5 イルカを助ける

五月のある日、りょうしさんたちが定置網ていぢあみを上げにいくと、イルカが入っていました。市場で船から上げると、イルカはキューキューと悲かなしそうな声で鳴きました。その声を聞いた市場の人々は、みんなदैいて港の中にがしてやりました。

ところが、どうしたわけか、イルカは港の中を大きく回りながら泳いでいるだけで、いっこうに広い海に出て行こうとはしません。それどころか、

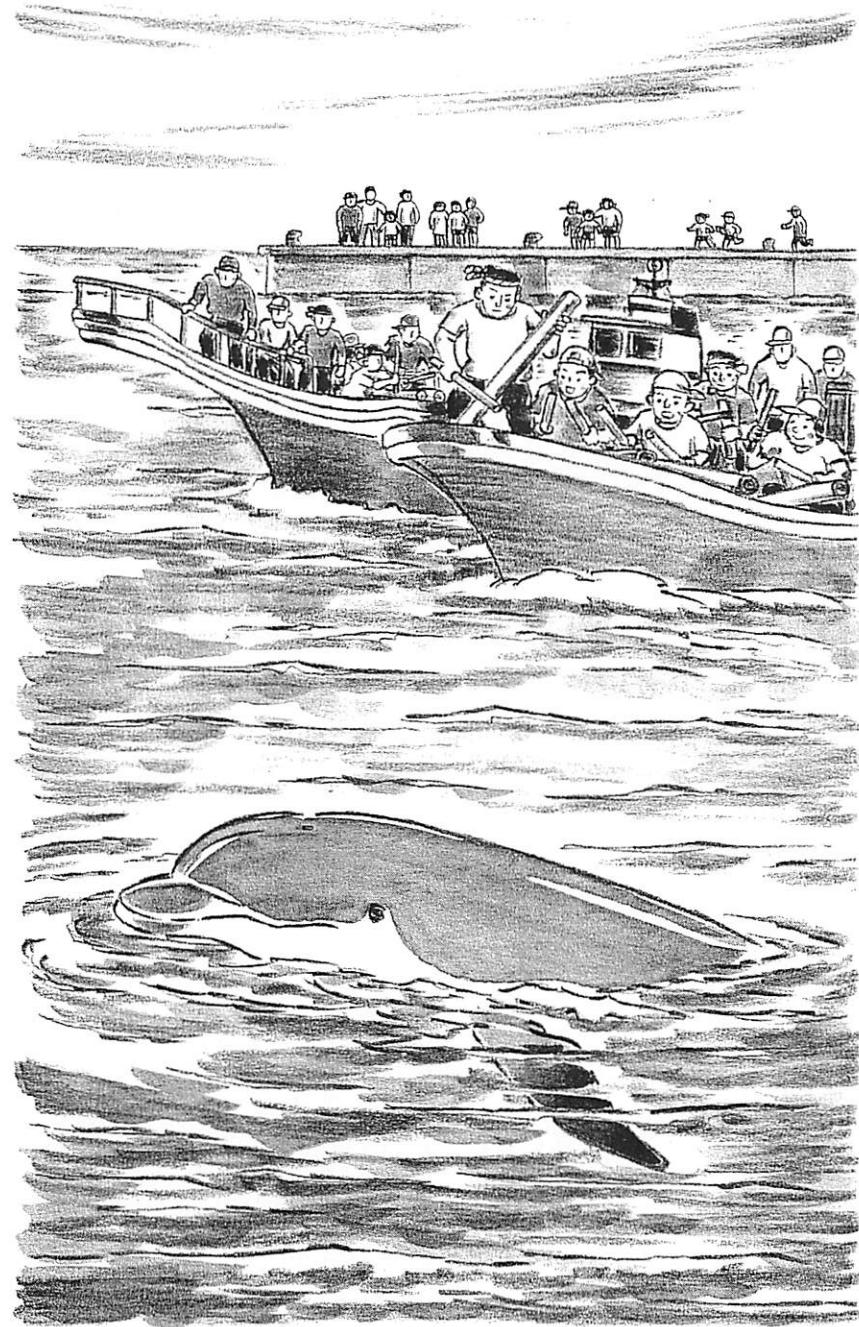


毎日元気にせまい港の中を泳ぎ回っています。市場の人々は、毎日イルカに会うのが楽しみになってしまいました。

ある日、大学の先生に来てもらって、イルカを見ていただく、「このまま港にいます、死んでしまうかもしれないね。港の中は、ばいきんが多くて病気になるやすいですよ。それに、あたたかいところにすむイルカには、小田原おだわらの気候きこうはあわないんですよ。」

と言うのです。

市場の人たちは、びっくりして会議かいぎを開いて話し合いました。「イルカの命を助けるには、海に出しておれに返すのが一番だ。」と、イルカを港の外に追い出すことを決めました。



早朝から、

「イルカを助ける。」

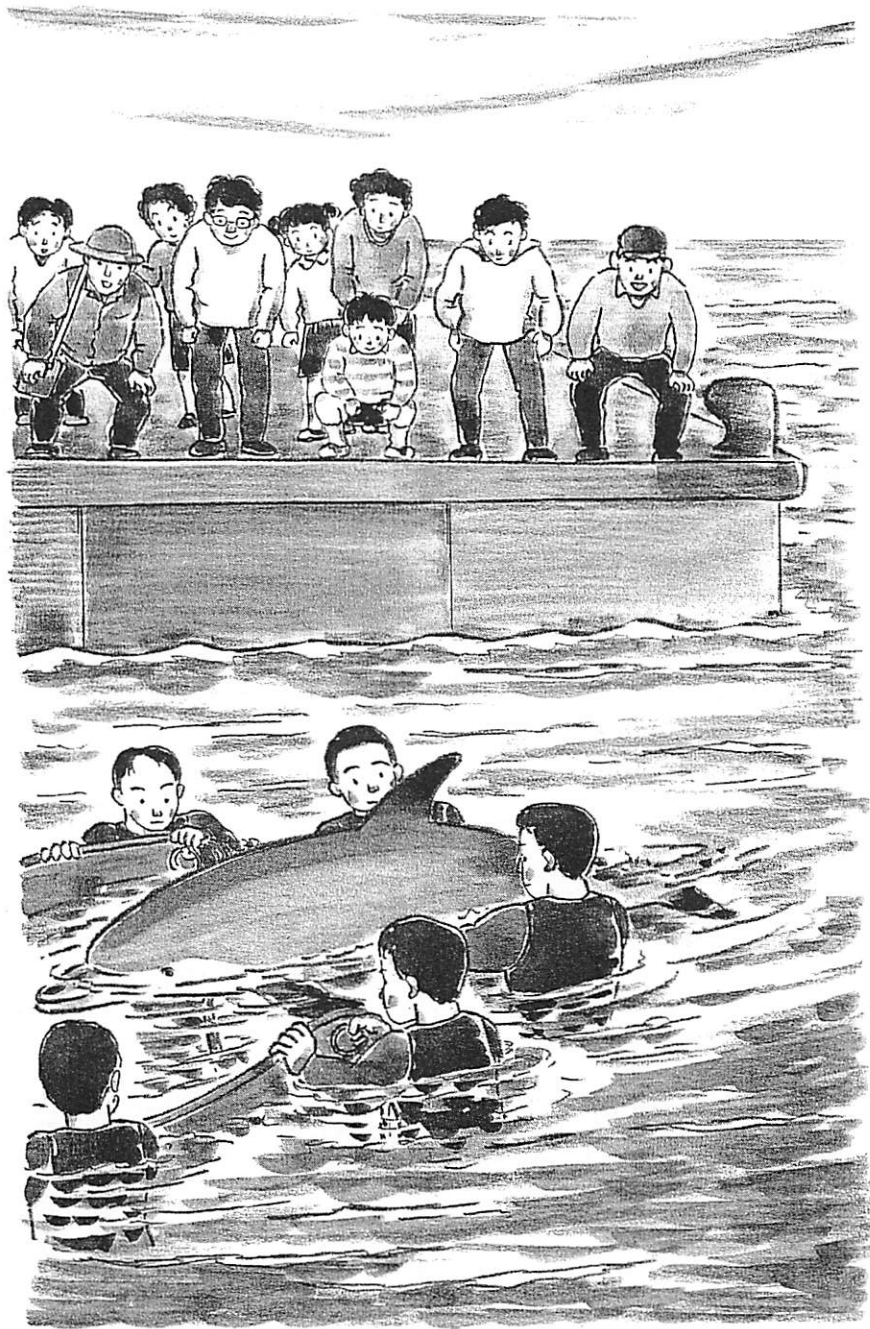
と、船のエンジンを高めて追いつ出す作戦さくせんや、パイプをたたいておどろかす作戦など、いろいろな方法ほうほうをやってみましたが、どれも失敗しっぱいしてしまいました。イルカは、時々水面に黒と白のひれをのぞかせて、ゆうゆうと泳いでいるのです。

こまった市場の人々は、また会議を開きました。

「何とかしてイルカを助けなくては。」

「そうだ、水族館にたのんだらどうだろう。水族館なら仲間なかまもいるだろうし、大事に育ててくれるのではないかな。」

さっそく水族館にたのんでみると、受け入れてもいいという返



事がありました。市場の人たちは、手をとりあってよろこびました。今度は、「どうやってイルカをきずつけずにつかまえて、水族館に送るか」という相談をしました。そして、網で港の中を切りながら追いつめ、網ですくいあげるといふ作戦に決まりました。

りょうしさんたちは、仕事の終わったあとの時間を使って、イルカをすくいあげるための網をいっしょうけんめい作りました。八月三十一日、港はイルカとのわかれをおしむ人たちでいっぱいになりました。みんなの見守る中、作戦どおりイルカを網ですくいあげました。

「おうい、そのひれをだきかかえて。」

ボートにのった人が指示しじしました。イルカは、自分にきがいなく
わえられると思ったのでしょうか。網の中であばれました。しか
し、間もなく水の中に入った水族館の人にそつとだきかえられ、
体をきずつけないためのシートにうつされました。そして、ク
レーンでつりあげられ、トラックにのせられました。

トラックはイルカをのせて、しずかに走って行きました。市場
の人たちは、走り去っていくトラックをいつまでもいつまでも見
送っていました。

※ 定置網……海岸近くの魚のとれる場所に網をしかけておいて、

サバやイワシなどをとるぎよほう漁法。

6 冉ぜん 求きゆう

むかし、中国に、冉求というわかものがおりました。

冉求は、生まれた村で、お母さんを助けて、百しよう仕事にせ
いをだしていました。朝暗いうちから、夕方暗くなるまで、畑に
出てはたらきました。

親思いの心があつく、いつもお母さんを大事にしていました。
だから、村の人たちは、いつも冉求をほめていました。

もともと頭もよく、学問ねがずきだった冉求は、仕官しかんして、名をあげ、世のために働きたいと願ねがっていました。そのためには、えら

5 イルカを助ける

3-1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、
自然や動植物を大切に。
(自然愛・動植物愛護)

1) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

人間をとりまく環境は、日々変化している。特に過去数十年の産業発展、地域開発等によってもたらされた自然破壊は甚だしい。人間は自然から多くの恩恵を受けてきたにもかかわらず、それを軽視したが故に多くの問題をかかえるようになった。自然や動植物と人間がいかに共存していくか。そのためには、自然や動植物がもたらしてくれる恵みに感謝するとともに、その偉大さやすばらしさを素直に感じ取れる心を育てていくことが重要である。

〈子どもの実態について〉

この期の子どもは、動植物に対してきわめて親近感が強く、小鳥、金魚などの小動物を飼育したり、草花を栽培したりするといった経験を少なからずもっている。

また、地域の自然を生かしたオリエンテーリングや空き缶拾いなどの体験活動によって、自然とふれ合う経験を多くもつようになってきている。そうした多くの経験により、動植物を世

話する楽しさや自然の中で過ごす喜びを感じ取っている子どもも多い。だが、それらの楽しさや喜びも、動植物や自然が人間に与えてくれたものだという感謝の念や、積極的に動植物や自然を大切にしていこうとする態度の育成にまではつなげていない。

〈資料について〉

定置網にかかったイルカ、港からいっこうに出ていこうとしないイルカを見て、漁師さんや市場の人たちは、どうにか助けられないものかと悩む。イルカを港から追い出す作戦、イルカをすくいあげる網の製作等、イルカを大切に思う人々の努力により、イルカは助けられるのである。なぜそこまでして人々は、イルカを助けようとしたのだろうか。その心の奥にあるものを追求させることにより、真の動物愛護とはどのようなものかを考えさせたい。

2) ねらい

動植物や自然のもつすばらしさに気付き、進んで動植物や自然を大切にしようとする心情を育てる。

板書

イルカを助ける

漁師や市場の人たちは、どんな思いでイルカを助けようとしたのだろうか。



- ・このままではイルカが死んでしまう。
 - ・イルカがかわいそうだ。
 - ・広い海で自由に泳がしてやりたい。
- 〈イルカを追い出す作戦の失敗〉
- ・これだけやったのだから仕方がない。
 - ・仕事もあるし、これ以上は無理だ。

でも、何とかイルカを助けてやりたい。イルカをすくいあげるあみを作ろう。

イルカの命も大切だ。人間と同じように生きている。動物も人間にとってかけがえのないそんざいだ。

動植物や自然からあたえられるもの

- ・やすらぎ
 - ・喜び
- ゆつたりとした気持ち
- 人間にとってとても大切なもの

3) 展開

学 習 活 動	支 援 上 の 留 意 点
<p>(1) 動物や植物を育てた経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物や植物を育てて、楽しかったり悲しかったりした思い出はありますか。 ・5年も飼っていた犬が死んだとき、とても悲しかった。 ・ハムスターの赤ちゃんが生まれたとき、すごくうれしかった。 <p>(2) 資料を読んで、漁師や市場の人たちの気持ちについて話し合う。</p> <p>① イルカを助けようとした漁師や市場の人たちにどんな感想をもちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルカをいろいろな方法で助けようとしてりっぱだ。 <p>■ 漁師や市場の人たちは、どんな思いでイルカを助けようとしたのだろうか。</p> <p>② 大学の先生や水族館の人の話を聞き、どんな思いになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままイルカを死なせてはかわいそうだ。 ・広い海に帰して、自由に泳がしてやりたい。 <p>③ 港からイルカを追い出そうとしたのにそれが失敗したとき、もうあきらめようといった気持ちはなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけやったのだから仕方がないとあきらめる気持ちもあったはずだ。 ・仕事もあるのだから、これ以上は無理だという気持ちもあったと思う。 <p>④ それでもなおイルカをすくいあげるための網を作ったまで助けようとしたのは、どんな考えからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいそうだという気持ちもあったと思うけど、何よりもイルカの命を大切に思う心があったのだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる動植物を世話した経験だけでなく、その大切さを感じた経験のある子どもを意図的に指名することにより、ねらいとする価値にかかわる意識をもつことができるようにする。 ・自分たちと比べての感想をもとに、すばらしい行為を行えた心を探ろうとする問題意識への共通化を図ることができるようにする。 ・イルカを助けたいと思う心に共感できるようにする。また、自分たちにもこうした動物を大切に思う心があることを確認する。 ・あきらめてしまうという気持ちにも共感しつつ、漁師や港の人たちの心は単なるかわいそうだという心を超えたものであることに気付くことができるようにする。 ・イルカの命もかけがえのないものとしてとらえている人々の心に気付くことができるようにする。 ・動植物や自然が私たち人間に与えてくれたものに経験を通して気付くことができるとともに、動植物や自然を大切にしようとする意欲を高めることができるようにする。 (心のノート P54・55) ・動植物や自然との感動的な出会いを描いた話などを子ども相互で紹介しあえるようにする。
<p>(3) 自分たちの生活について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物や植物、あるいは自然は、人間にとって大切だなと思ったことはありませんか。 ・飼っていた犬が死んでしまって初めて、どれだけ家族みんなを楽しくさせてくれていたかが分かったことがある。 ・山登りをしたとき、森林のにおいに生き返る思いがすると父が言ってたけど、私もそうだなとそのとき思った。 <p>(4) 教師の話を聞く。</p>	